

Title	量子力学の基礎について
Author(s)	
Citation	物性研究 (1984), 41(5): 261-261
Issue Date	1984-02-20
URL	http://hdl.handle.net/2433/91208
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

「量子力学の基礎について」研究会報告

(1983年11月17日受理)

上記研究会が1983年7月14～16日に基研で行われ、参加者は約80名であった。世話人は荒木不二洋・江沢洋・中嶋貞雄・並木美喜雄・牧二郎・町田茂、講演題目(*印は以下に報告を掲載するもの)は下記のとおりである。

7月14日

- *。並木美喜雄(早大理工)：観測理論のcritical review, I
 - 町田 茂(京大理)：同上, II
- *。町田 茂(京大理)：オブザーバブルと装置の巨視性
- *。豊沢 豊(東大物性研)：観測理論について
- *。小沢正直(東工大理)：情報理論の観測理論への応用
- *。山口雄仁(日大理工)：量子力学における観測量としての時間
- *。飯田修一(東大理)：新統一体系物理学の成立と、量子物理学と古典物理学の新しい接続関係について

7月15日

- 大貫義郎(名大理)：AB効果についてのintroductory talk.
- *。外村 彰(日立中研)：電子線が磁石にあたらぬようにしたAB効果の実験
- *。永宮健夫：コメント
 - 宮沢弘成(東大理)：多重連結領域での波動関数の一価性
 - 高橋秀俊(慶大理工)：コメント
 - 高林武彦：hydrodynamical quantization, AB効果についてのコメント
- *。関根克彦(明星大)：AB効果は理論上可能か？

7月16日

- 中嶋貞雄(東大物性研)：macro quantum effectについてのintroductory talk.
- *。藤田敏三(東北大理)：SQUID
 - 恒藤敏彦(京大理)：コメント
- *。中山正敏(九大教養)：透過光(ポラリトン)と反射光との相関
- *。長沢信方(東大理)：CuClにおける光誘起による励起子ポラリトンのモード相関